

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 少子化対策の対応について (40分)</p> <p>我が国日本が少子高齢化社会なって、すでに久しいわけあります。今より六、七年前からは、ついに総人口が減り始める人口減少の段階に入ってしまいました。</p> <p>日本的一部には、この人口減少をむしろ良いことでもあるかのように吹聴する議論も少なくありません。</p> <p>しかしながら、この人口減少が社会にもたらす弊害については様々な影響があり、私はこのことを「静かなる有事」と思います。この事についてはマスコミも含めて「少子高齢化」と縮めた言い回しをしていますが、その実態としては、少子化と高齢化、さらに勤労者世帯の減少という三つの異なる問題が同時に起こっているわけです。</p> <p>年金問題にしても、これからは成人一人が高齢者一人を支える、いわゆる肩車社会へと突入してまいります。</p> <p>本市が執りえる対策について伺います。</p> <p>(1) 本市の合計特殊出生率は。</p> <p>(2) 本市の世帯に占める平均子ども数は。</p> <p>(3) 本市の高齢者世帯と勤労者世帯の割合は。</p> <p>(4) 少子化の怖さの見解は。</p> <p>(5) 少子化対策の「カギ」は。</p> <p>(6) 地域子育て支援（子育てセンター・つどいの広場）の活動について。</p>	市長